

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	エフェクティブ・スピーキング				
担当者氏名	アレックス M. 林				
授業方法	講義	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門応用-4 発達の深い理解				

《授業の概要》

基礎的な会話の技術と能力の習得をめざし、会話に必要な文章表現の英作文の構成能力を伸ばす。会話に必要な英文のスピーキングの実践練習を行う。「実際の英会話」に焦点を当てると、次には4技能のなかでのヒアリングとスピーキングの能力も養いたい。まず英語に慣れることが根本で、発音の矯正から始め、聞き取りを十分練習し、英語のコミュニケーション能力の向上を目指す。

《授業の到達目標》

1) 使える会話表現をスピーチできるように訓練する。2) 会話に必要な文章の作文力を養う。(添削により文章構成力のチェックとリーディング指導) 3) 発音を矯正し実際にスピーチしてシチュエーションに応じた場面の実践練習を繰り返す。4) 会話表現が時、場所、機会に応じて自己表現ができるように実践する。5) 英語で英文を読むことで、その背景にある文化、習慣の違いを理解したい。

《成績評価の方法》

プレゼンテーション70% 課題20% 演習・小テスト10%
 その他、積極的かつ自発的な授業参加意欲、授業中の発言、発話も評価対象に入れる。

《テキスト》

Let's Cross Culture! (朝日カルチャー出版)

《参考図書》

国際理解・異文化学習「英会話の体験クイズ33選」(明治図書出版)

《授業時間外学習》

予習1.5時間、復習1.5時間を要する内容

《備考(教員経験の有無)》

イギリスの大学、大学院、ニュージーランドの大学教員経験、小中のALT講師としての経験、・ラジオ子ども英語プログラム制作・講師、文科省より全国の新任ALTへの指導経験

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	ガイダンス (コロナ禍での授業のあり方も含めた授業紹介も行う)
2	発音クリニック	英語の連結音リエゾンについて
3	発音クリニック	英語の子音、母音について
4	発音クリニック	英語のオクターブ、スピードについて
5	あいさつ	自己紹介、実践スピーキング練習(基礎的な英作文で、文章構成能力の向上)
6	スピーチ練習	朝から昼までのダイアログ(基礎的な英作文で、文章構成能力の向上)
7	スピーチ練習	昼から夜までのダイアログ(基礎的な英作文で、文章構成能力の向上)
8	スピーチ練習	ホームステイを設定した一日の会話(基礎的な英作文で、文章構成能力の向上)
9	Q and A練習	語学研修を設定した英会話の実践スピーキング練習)
10	英文を読む	英語圏の文化を知る(1) ビジュアルアプローチ
11	英文を読む	英語圏の文化を知る(2) ビジュアルアプローチ
12	英文を読む	英語圏の文化を知る(3) ビジュアルアプローチ
13	英語、文化背景について学ぶ	アメリカ合衆国の英語、文化背景について学ぶ
14	英語、文化背景について学ぶ	英国、オーストラリア、ニュージーランドの英語、文化背景について学ぶ
15	授業内容の総まとめ	授業内容の総まとめ